



墜落制止用器具特別教育 (フルハーネス型安全帯)

主催 東京土建 調布支部

フルハーネス型安全帯は、墜落阻止時に身体が安全帯から抜け出さないように複数のベルトで構成されていますが、胴ベルト型安全帯は、1本のベルトを胴回りに巻きつけて身体拘束を行う構造になっています。墜落阻止時の衝撃荷重によって胴ベルトが伸びて緩みが生じ、胴ベルトがずり上がることによる胸部・腹部への圧迫(死亡事例が多く発生)、あるいは抜けによる地面への落下の危険性が考えられます。

また、胴ベルト型安全帯の場合、墜落阻止時に身体が「くの字」となり、腹部などへの圧迫が大きくなる可能性や、つり元であるD環の位置が身体の重心位置(腰部付近)よりも下(脚部側)になる“逆さま姿勢”となる可能性もあります。

平成31年2月の法改正により、現在フルハーネス型安全帯を使用している方は、特別教育が必要になる現場が出てきます。

正しい知識や使用方法を学び、墜落による労働災害をなくしていきましょう。

とき 2019年2月3日(日)

午前9時より午後5時30分まで(遅刻厳禁:6時間講習)

受付開始時間 午前8時30分～

講習会場 東京土建一般労働組合 調布支部

東京都調布市深大寺元町1-15-1



受講資格 18歳以上の組合員

定員 20人(申込者が、15人に届かない場合、講習は開催しません)

受講料 9,000円(お弁当とお茶が付きます)

支部窓口にて下記、仮申込書と受講料と写真「縦3cm横2.5cm」1枚、印鑑(認印)を添えてお持ちください。

申込用紙(本申込)を記入していただきます。(ライカ統合する方はライカをおもちください)

※ 1月21日(月)午後5時 申込み締切 担当:あかいけ

墜落制止用器具特別教育(フルハーネス型安全帯)受講 仮 申込書

(ふりがな)			昭和・平成
氏名		生年月日	年 月 日生
住所			
電話	()	講習	東京土建一般労働組合 調布支部
携帯電話	()	会場	

HP 仮申込書